

古老に聞く「西田中編」

会場 : e-とこ朝日
日時 : 令和2年9月 18 日
古老 : 橋谷 義孝氏 (90歳) 越前町西田中 14-18-1
聞き手 : 橋本 守行 平井 勝治
記録 : 木下 愛望

橋本 : 本日は時節柄お忙しいところご出席いただき、また「e-とこ朝日」と「幸若舞の里づくり会」の合同事業、「古老に聞く」「西田中編」にご協力いただきありがとうございます。
橋谷さんに故郷の歴史、言い伝え、集落の様子を教えていただきたいと思います。まずは白山神社についてお願いします。

橋谷 : 平成8年、氏子副総代をさせていただいたとき、大祭・中祭・小祭の時の神饌品目や神饌の並べ方・供え方 白山神社祭礼諸準備要項を、白山神社備忘録として作成しました。平成11年12月に補正しました。
その頃は、佐々生の佐々牟志神社の田中宮司さんにお越しいただきお祓いをして頂いておりました。大祭になると3人ほど宮司さんがこられていました。
現在は敦賀からこれ気比庄地区にお住まいの気比神社の角鹿宮司さんが努めておられます。
お正月と秋祭りの際は巫女さんが浦安の舞を奉納してくれています。
西田中地区の女の子で小学5年生から中学2年生くらいまでの間、お願いしていました。一度に4人が浦安の舞を卒業してしまうと踊りが継承していかなくなるので2人ずつ学年を変えてお願いしていました。
私の代で一度4人が全て変わってしまった時に、福井市清水地区の賀茂神社にお願いし何度か浦安の舞の指導を受けに行きました。その後はビデオを撮影し残していくようにしました。
お祭りの時には必ず大きな太鼓を出し、触れ太鼓のように境内の中で始終太鼓を叩いている人がいたのも覚えています。

橋本 : 白山神社に宝物があると聞いていますが、どのようなものですか。

橋谷 : 神様が5体いらっしゃいます。
(伊邪那美・須佐能の尊・祇園牛頭天王・白山大権現・八幡大菩薩)様です。
また、拝殿の奥の棚に袋入って104体～107体ほどの石人形と思われるものがございます。大きさが1体8センチメートルほどの小さなもので、拝殿の下に置かれていたものを拝殿の棚に置き換えました。男の子が生まれた時にお供えしたものなのか、初子のお祝いなのか水子供養なのか・・・
なぜ、拝殿の下に置かれていたのか今でもわかりません。
その他に、稲荷神社と・菅原道真公を祀った筆神社と針供養の祠が設置されています。
お稲荷さんは三谷一英(こんにゃく屋)さんがその頃は管理されていました。
昔は神社の裏におられたお稲荷さんですが、神楽殿の建設の時今のところに移転